

私たちに一番身近な野鳥はスズメでしょう。昔話にも登場し、歌にも俳句にもうたわれます。スズメの子鳥は、いろいろな可愛い動きをするので、思わず微笑んでしまいます。



5月19日 親を待つ巣立って間もないスズメの子。
親の後に付いて回って餌をもらう。自分ではまだ餌をとれない。



親の姿が見えると、羽を広げて震わせてアピール、黄色いくちばしを大きく開けておねだり。



少し大きくなったスズメの子。ひとりであちこち飛びまわり、食べ物を探すようになった。



いつものエサ台



エサ台から、シジュウカラ用のヒマワリの種を持ってきたが、足で挟んでつつく技を知らない。口でもぐもぐ何度タタも噛んでつぶす



鳥の祖先をたどると恐竜に行きつくという。なんとなくわかる気がする。



スズメ成鳥

何か上の方に気になるものがある。



反対側に回り込んでじっと見上げる



金具に飛びついて、くわえてみた。
下げ金具のつなぎ部分が、虫にでも見えたかな。

子供たちは好奇心旺盛で、よく遊ぶ。食べ物探しや、成鳥になるための勉強をしているのかも。

庭をピョンピョン歩き回って、地面をつついたり、葉っぱをちぎってみたり、何か拾い上げたり。シジュウカラの羽が落ちているのを見つけた。なんだろう食べられるのかな？ おもしろそう！



少し飽きて、途中でオモチャをヒマワリの殻に変えてみたけど、やっぱり羽の方がおもしろい。



ヤマガラは親鳥も可愛いけど幼鳥はもっと可愛い

